

2 . 火山の概況

(平成16年2月26日～平成16年3月3日)

十勝岳ではごく小規模な噴火が発生した。

吾妻山では地震がやや多い状態が続いた。

浅間山では地震がやや多い状態が続いた。

火山活動度レベル

レベルは2。

伊豆大島で時折地震が多発した。レベルは1。

三宅島では噴煙活動が継続した。

阿蘇山では浅部の熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。レベルは2。

霧島山では噴気活動が継続していた。

桜島では噴煙活動がやや活発になった。レベルは2。

口永良部島では地震と微動がやや多く発生した。

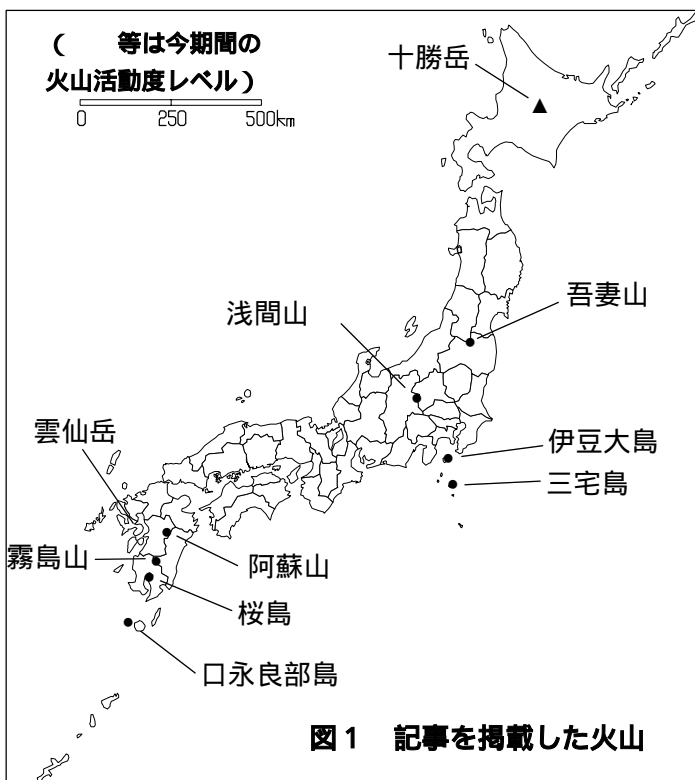


図1 記事を掲載した火山

表1 最近1か月に記事を記載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		十勝岳	吾妻山	箱根山	三宅島	八丈島	福徳岡ノ場	霧島山	口永良部島	諏訪之瀬島
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号											
10	2/26- 3/ 3		●		●		●				●	▲	●		●			●	●	
9	2/19- 2/25		●				●				▲	▲	●		●				●	
8	2/12- 2/18		●			→	●						●		●		●		●	
7	2/ 5- 2/11		●				●						●		●	●			●	▲
6	1/29- 2/ 4		●				●						●	●	●			●	●	▲

注1 記号の意味

▲：噴火した火山

- ：観測データ等に変化があった火山

：前期間まで▲や●で掲載した

火山の、その後の状況等

：その他記事を掲載した火山

等の丸付き数字：火山活動度
レベル

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があつた観測データ項目を示す。

▲ 十勝岳 [噴煙・微動]

2月25日の夜間に、ごく小規模な噴火が発生した。

25 日 21 時 07 分頃から振幅の小さな微動が発生し、その直後から 62-2 火口の噴煙が火山灰混じりの有色噴煙になるのが観測された。噴煙の高さは火口縁上 200～300m で、東に流れていた。有色噴煙の噴出は 26 日に入っても継続していたが、26 日 01 時過ぎに悪天のため確認できなくなった。振幅の小さな微動は 26 日 05 時前に収まった。

天候が回復した 28 日の日中には噴煙は既に白色に戻っており、摺鉢火口（62-2 火口の北東約 1 km）^{すりばち}周辺の雪面に降灰の痕跡とみられる、やや灰色がかった汚れが認められた。なお、聞き取り調査によると、風下側にあたる新得町の山麓では降灰等は確認されなかった。

今後も同様の現象が繰り返される可能性はあるが、現在のところ火山活動が活発化することを示す観測データはない。

● 吾妻山 [地震]

いっさいきょうざん おおあな

一切経山（大穴火口付近）の地下、深さ数 km を震源とする微小な地震は、昨年 12 月以降増加傾向にあったが、1 月中旬以降さらに多くなった。1 月 24 日以降は減少傾向がみられるものの、今期間の日回数は 12～19 回、合計は 116 回（前期間は 147 回）と依然やや多い状態が続いている（図 2）。

なお、この地震活動に関係して、噴気活動や地殻変動には特に変化はない。

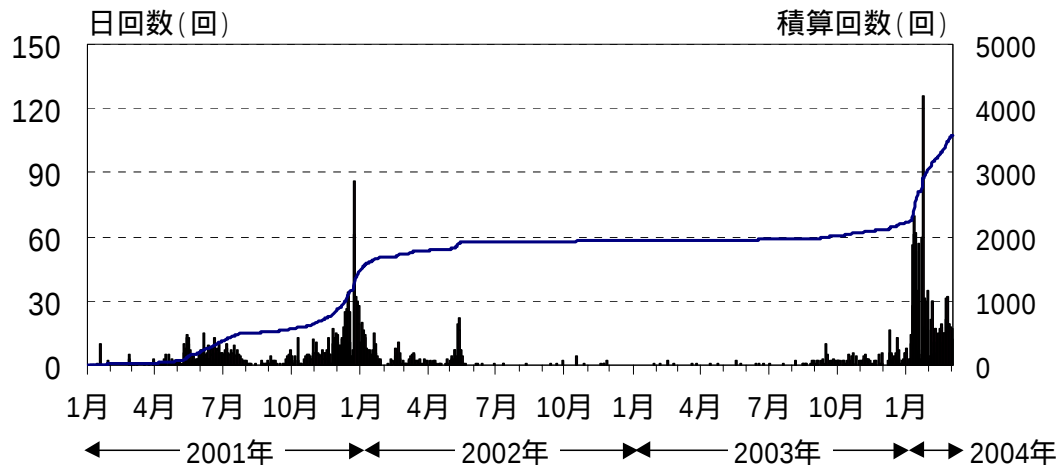


図 2 吾妻山 地震の日回数（折れ線は積算回数）（2001 年 1 月 1 日～2004 年 3 月 3 日）

● 浅間山 [地震・微動・噴煙・熱] レベル 2（やや活発な火山活動）

昨年 6 月末頃からやや多く観測されるようになった振幅の小さい地震は、今期間も 1 日あたり 53～74 回とやや多く観測された。

振幅の小さい微動は 2 月 28 日に 2 回、3 月 1 日に 1 回、合計 3 回観測された（前期間は 2 回）。

監視カメラによる観測では、白色の噴煙が最高で火口縁上 400m まで上がった（3 月 1 日）。

群馬県林務部が火口縁に設置している赤外線カメラは、火口底には引き続き高温部が確認されたが、その範囲は次第に狭くなっている。

● 伊豆大島 [地震・地殻変動] レベル 1（静穏な火山活動）

2 月 26 日～27 日及び 3 月 2 日に一時的に地震活動が活発化した。震源はいずれも島内北西部であった。微動は観測されなかった。また、噴煙活動や火口内の状況には変化はなかった。

2 月 26 日からの活動では、26 日 16 時頃から地震が増え始め、深夜から翌 27 日早朝にかけて伊豆大島町元町で震度 1 となる地震が 6 回発生した（伊豆大島周辺を震源とする震度 1 以上の地震は 2003 年 9 月 25 日以来）。活動は 27 日の昼頃までには低下した。最大規模の地震は M 2.5（26 日 23 時 00 分）、地震回数は 26 日 107 回（うち震度 1 を観測した地震が 2 回）、27 日 358 回（同 4 回）であった。

この地震活動に伴い、26 日 23 時頃から、震源付近に設置されている体積歪計で伸びの変化が観測された。一方、GPS による地殻変動観測では特に変化はなかった。

その後も地震はやや多い状態が続いていたが、3 月 2 日 05 時頃から再び活発化し、09 時頃には低下した。2 日の地震回数は 169 回で、震度 1 以上となる地震は発生しなかったが、震源付近では揺れが感じられた。また、06 時頃から体積歪計で伸びの変化が観測されたが、2 月 26 日より小さいものであった。

今回の活動域周辺では 1998 年 8 月にも一時的に地震活動が活発化したことがある。

● 三宅島 [噴煙]

噴煙活動は引き続き活発で、白色の噴煙が山頂火口から連続的に噴出した。期間中の噴煙の高さの最高は火口縁上 1,000mであった。3月2日に行った上空からの観測¹⁾では、火口内の状態に特段の変化はなかった。

振幅の小さいやや低周波の地震の回数は、1日あたり 12～32 回で落ち着いた状況であった。

GPS による地殻変動観測では、昨年 6 月頃から再び三宅島の収縮傾向を示している。

1) 海上自衛隊の協力による

● 阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動・地震] レベル 2 (やや活発な火山活動)

中岳第一火口の浅部の熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。

中岳第一火口の状況は、2月26日、3月2日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、湯だまりの色は灰色、湯量は引き続き約 4 割で、湯だまりの表面温度の最高は 69 (前回観測時(2月18日)は 79)と依然高温状態にあった。湯だまり中央部と南西側の 2 か所で、5 m 程度の小規模な土砂噴出を観測した。また南西側で噴湯現象を観測した。土砂噴出は阿蘇火山博物館が火口縁に設置している監視カメラでも 2 月 29 日に確認されており、1 月 14 日の規模の大きい土砂噴出以降、小規模な土砂噴出はほぼ連続的に発生しているとみられる。

また、孤立型微動が 993 回(前期間は 958 回)、B 型地震が 27 回(前期間は 40 回)と依然多い状態で、中岳第一火口の浅部の火山活動はやや活発であった。

その他の観測データについては A 型地震の発生は少なく、噴煙活動や地殻変動には特段の変化はなかった。

雲仙岳 レベル 1 (静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも異常な変化はなかった。

● 霧島山 [噴気]

期間中、霧島山の火山活動は総じて静穏に経過した。

3月3日に職員が現地で確認したところでは、昨年 12 月に形成された 2 か所の噴気孔から、依然白色で少量の噴気が火口縁付近まで上がっていた。

● 桜島 [地震・噴煙・空振] レベル 2 (比較的静穏な噴火活動)

B 型地震が 2 月 26 日の 23 回を最高に、2 月下旬にやや多くなった。その後、3 月 2 日～3 日にかけて噴煙活動がやや活発化し、間欠的に火山灰が混じった有色噴煙(灰白色)を上げた。有色噴煙の高さの最高は 700m で、一部の噴煙の噴出に伴い空振が発生したがその振幅は小さく、桜島で噴火・爆発として計数している規模の活動はなかった(前期間は噴火 2 回、うち爆発 1 回)

鹿児島地方気象台(南岳の西南西約 11km)では、今年に入ってから降灰は観測されていない。

● 口永良部島 [微動・地震]

2 月 29 日 07 時 23 分に振幅の大きな微動(継続時間 15 秒)を観測した。

地震は 2 月 2 日に多発して以降増減を繰り返しており、今期間の合計は 14 回であった(前期間は 41 回)。

表2 火山情報発表状況

火 山 名	情報の種類及び号数	発表日時	概 要
十 勝 岳	火山観測情報第 1 号	26 日 10:30	ごく小規模な噴火の状況（微動の発生、有色噴煙の確認）。
伊豆大島	火山観測情報第 1 号	27 日 10:30	地震が多発。体積歪計で伸びの変化を観測。レベルは 1。
	火山観測情報第 2 号	27 日 15:20	地震、体積歪の伸びの変化は収まってきた。レベルは 1。
	火山観測情報第 3 号	2 日 08:30	地震が多発。体積歪計で伸びの変化を観測。レベルは 1。
	火山観測情報第 4 号	2 日 15:30	地震、体積歪の伸びの変化は収まった。レベルは 1。
三 宅 島	火山観測情報第 110 号	26 日 09:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻
	↓（1 日 2 回発表） 火山観測情報第 123 号	↓ 3 日 16:30	変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
阿 蘇 山	火山観測情報第 17 号	27 日 11:05	火山活動が引き続きやや活発（湯だまりから規模の小さい土砂噴出が継続、孤立型微動が多い状態）。レベルは 2。
霧 島 山	火山観測情報第 14 号	27 日 15:00	御鉢の火山活動は収まっているが、火口内や南側火口縁では引き続き注意が必要。
桜 島	火山観測情報第 1 号	27 日 13:15	B 型地震がやや増加。今後、噴火活動が活発化する可能性がある。
口永良部島	火山観測情報第 13 号	27 日 15:00	引き続き活発な状態（地震は一時的な多発を繰り返し、微動も発生、噴気・地熱の活動や地殻変動には変化なし）。
	火山観測情報第 14 号	1 日 15:00	地震・微動の発生状況は消長を繰り返している。